

競 技 注 意 事 項

本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、補助競技場及び雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、多目的広場を使用する。砲丸投の練習は、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。使用の際は係員の指示によって行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは、周回練習のみ使用可とする。ただし、1レーンはトライアル、2レーンはジョグ練習とする。（集団ジョグは不可。）
- ・3～4レーンは、短距離、リレー練習を優先する。
- ・5～6レーンは、400mHを優先する（大会2日目まで）。
- ・ブロックを使用してのスタート練習は、多目的広場側直走路4～7レーンとする。
- ・多目的広場直走路9レーンは、女子100mH、11レーンは、男子110mHとする。
- ・テント等を設営しての独占的な使用をしない。

雨天練習場の使用について

- ・ピストルの使用は禁止する。
- ・入場は、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止とする。
- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーキング、ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動き作り程度の練習は行ってもよい。それ以外は補助競技場で行うこと。
- ・ウォーキング、ジョギング等は左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードル、スターティングブロックは使用できない。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

また、スパイクの本数は原則として11本以内とする。

3 ナンバーカードについて

ナンバーカードは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手はどちらか一方でもよい。

トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右横やや後方につけること。

3000m以上の種目は、別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードについては、召集所にて配布する。

4 選手招集について

①選手招集場所は第2ゲート付近（1500mスタート付近）とする。

②選手招集時間は下記のとおりとする。

トラック競技（予選・準決勝）		トラック競技（決勝）		フィールド競技	
開始	完了	開始	完了	開始	完了
30分前	20分前	25分前	15分前	40分前	30分前

※ただし、棒高跳については、60分前に現地で召集する。

③リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに提出すること。なお、決勝においてもオーダーの変更の有無に関わらず、予選に準じて提出すること。

④混成競技においては、その日の第1種目に第1コール、最終コールを行い、第2種目以降は現地集合で、最終コールを行う。

⑤2種目同時に出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

5 競技について

①競技順は、プログラム記載の番号順とする。

- ② スタートはイングリッシュコマンドで実施する。
- ③ トラック競技の次ラウンド進出は着順優先とし、各組上位者のみとする。
 プラス進出者の決定において、その最下位で同記録者が出た場合、ハードルを含む800mまでは、レーンに余裕がある限り次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕がない場合は、判定写真を拡大し細部（**電気時計 1/1000**）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は抽選して決定する。1500m以上の同記録者は次のラウンドに進出できる。
- ④ 4×400mRの第3・第4走者の待機順は、200mスタート地点を通過した順序とし、それ以後いかに順序が入れ替わろうとも変えることはできない。
- ⑤ 各レースの**不正スタートは1回目から全て失格**とする。
- ⑥ 競歩の制限時間は、最後の1周に入った時点で下記の時間を超えないこと。越えた場合は競技を打ち切る。

男子5000mW 35分
 女子5000mW 40分

- ⑦ 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については、競技運営並びに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ただし、文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

6 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし棒高跳用ポール・やりは検定において合格したものに限り使用が認められる。個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検定は競技開始60分前に第1ゲート(ゴール付近)横の倉庫前で行う。
- ② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

7 跳躍競技について

1 ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、選手の記録により変更あり）

		練習							以降
走高跳	男子	155	160	165	170	175	180	183	3 cm刻み
	男混	140	144	147	150	153	156	159	3 cm刻み
	女子	130	135	140	145	150	153	156	3 cm刻み
	女混	115	120	123	126	129	132	135	3 cm刻み
棒高跳		250	260	280	300	310	320	330	10 cm刻み

- ② 三段跳びの位置は、男子11m00とする。

8 表彰

- ① 個人表彰は、1位、2位、3位に賞状を授与する。
- ② 団体表彰は、1位、2位、3位に賞状を授与する。
- ③ 表彰式の服装は、上半身のみユニフォームとする。

9 得点

得点は、1位8点・・・8位1点とする。

10 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンドした救護室に連絡する。
- ③ 記録は正面玄関付近に掲示する。

連 絡 事 項

本大会で、8位以内の入賞者（ただし、走高跳・棒高跳については8名以内）に、県大会出場権を与える。ただし混成競技は6位までとする。県大会への出場権を獲得した学校は、愛媛陸上競技協会ホームページ（<http://ehime-rikujyo.jp/>）から第70回県高校総体申込用紙をダウンロードし、競技会申込一覧及び出場認知書を作成してください。なお、参加者の予選会の記録を必ず入力してください。

- (1) 作成した競技会申込一覧及び出場認知書（申込ファイル）を
平成28年5月6日（金）15：00必着で新田高校、水口 剛先生
mizuguchi.tsuyoshi@gmail.com に送信してください。
- (2) 競技会申込一覧及び出場認知書（申込ファイル）をプリントアウトしものを
平成28年5月10日（火）必着で県高体連事務局へ送付してください。

補 助 員 割 当 表

学 校 名	人数	部 署	準 備 及 び 片 づ け
北 条	6	用器具	用器具全般
松 山 東	8	記録・番組編成	記録関係全般・番組編成
松西中等	6	用器具	用器具全般
松 山 南	6	投てき全般	投擲の囲い・ラインテープ・ペグ・記録表示板
松 山 北	8	スタート・出発	スタート器具・スタプロ・レーンナンバー
松山商業	6	投てき全般	投擲の囲い・ラインテープ・ペグ・記録表示板
松山工業	6	走幅跳・三段跳	砂場掘り起こし・器具・記録表示板
松山中央	6	投てき・競歩	投擲の囲い・ラインテープ・ペグ・記録表示板
伊予農業	8	補助競技場	補助競技場用器具全般
伊 予	6	用器具	用器具全般
東 温	6	走幅跳・三段跳	砂場掘り起こし・器具・記録表示板
新 田	6	走高跳・棒高跳	走高跳、棒高跳マット・スタント・バー・記録表示板
済 美	6	選手・風速	選手係器具・机・椅子・黒板
聖カ女子	6	表彰・庶務	表彰台・国旗・大会旗の掲揚・庶務係補助
愛大付属	4	走高跳	走高跳マット・スタンド・バー・記録表示板